

感染症蔓延下での災害対応を考える

～7月10日 防災シンポジウム「新型コロナウイルス感染症蔓延下の災害対応」を開催～

○新型コロナウイルス感染症が終息していない中、本格的な出水期を迎え、感染拡大防止と水害に代表される自然災害の被害拡大防止の両立が求められています。この新たな課題に対し、近畿管内の沿川自治体と共にチャレンジする機会として、シンポジウムを開催します。

○シンポジウムでは、先行して検討を進めている三島地域（淀川右岸、安威川左右岸）における取組内容も紹介し、自治体の適切な対応を支援します。

■防災シンポジウム「新型コロナウイルス感染症蔓延下の災害対応」開催概要

○開催日時：令和2年7月10日（金）13:30～17:00 開場 12:00～

○開催会場：ドーンセンター 7階 ホール

（大阪府大阪府中央区大手前1丁目3-49）

○主催：国土交通省 近畿地方整備局、一般社団法人 近畿建設協会

○内容：別紙1をご覧ください。

○参加対象：近畿管内の国の機関と地方自治体

○傍聴申込先：メディア関係者を対象に事前申込者のみ傍聴可能です。

傍聴を希望の方は別紙2の様式に記載の上、以下までFAXもしくはメールにてお申し込み下さい。

国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川計画課 宮崎

FAX: 06-6949-0865 Mail: miyazaki-m86pa@mlit.go.jp

○傍聴申込期限：令和2年7月8日（水）17:00

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局

河川部 河川計画課

課長

橋爪 翔(内線 3611)

河川部 水災害予報センター センター長

井川 貴史(内線 3851)

水災害対策専門官

細川 晋(内線 3852)

TEL 06-6942-1141(代表) FAX 06-6944-8854

防災シンポジウム

「新型コロナウイルス感染症蔓延下の災害対応」

- 日 時 令和2年7月10日（金）13時30分～17時30分
- 場 所 大阪府中央区大手前1丁目3番49号 ドーンセンター 7F ホール
- 開催挨拶 (13:30～13:40) 一般社団法人 近畿建設協会
理事長 霜上 民生
- 期待の言葉 (13:40～14:00)
「摂津市 SOS 避難メソッド ～感染症下における分散避難とは～」
大阪府摂津市 市長 森山 一正
- 基調講演 (14:00～14:45)
「超想定外のパンデミックの経験をこれからの災害対策に生かす」
関西大学 特別任命教授・社会安全研究センター長
河田 恵昭
- 特別講演 (14:45～15:30)
「新型コロナ感染症流行下の避難にかかる
日米比較と台風19号の災害対応を検証する」
東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター
客員教授 松尾 一郎
- 休 憩 (15:30～15:45)
- パネルディスカッション(15:45～17:15)
- コーディネーター 東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター
客員教授 松尾 一郎
- (15:45～16:00)
「感染症蔓延下における避難環境の考え方」
日本赤十字北海道看護大学 教授 根本 昌宏
- (16:00～16:15)
「新型コロナウイルス感染症対応における避難のあり方」
大阪府 危機管理監 橋本 正司
- (16:15～16:30)
「感染蔓延下の災害対応における国土交通省の役割」
国土交通省 近畿地方整備局 局長 井上 智夫
- 決意の言葉 (17:15～17:30)
大阪府高槻市 市長 濱田 剛史
- 閉会挨拶
国土交通省 近畿地方整備局 統括防災官 栗津 誠一

防災シンポジウム

「新型コロナウイルス感染症蔓延下の災害対応」

メディア関係者傍聴申 込 書

定員超過の場合は人員調整させていただきます。

申 込 書						
会社名	所属名	役職名	氏 名	メール	電話番号	F A X

- ・シンポジウム当日は、37.5度以上の熱がある方、体調不良の方は入場をご遠慮ください。なお、入場にあたり全員の体温測定を行う予定です。
- ・また、入場にあたり、緊急連絡先の記入をお願いし、感染の疑いのある方が発生した場合などは、その名簿を保健所等に提出することがあるので、ご了承ください。
- ・なお、今後の感染状況によっては、開催の可否、出席人数の調整（減員）を行う場合がありますのでご容赦ください。

お申し込み方法：必要事項をご記入の上、メールまたはF A Xにてお申し込み下さい。

FAX : 06-6949-0865

mail : miyazaki-m86pa@mlit.go.jp